

Nagasaki Peace Volunteer

青少年ピースボランティア育成事業 令和2年度報告

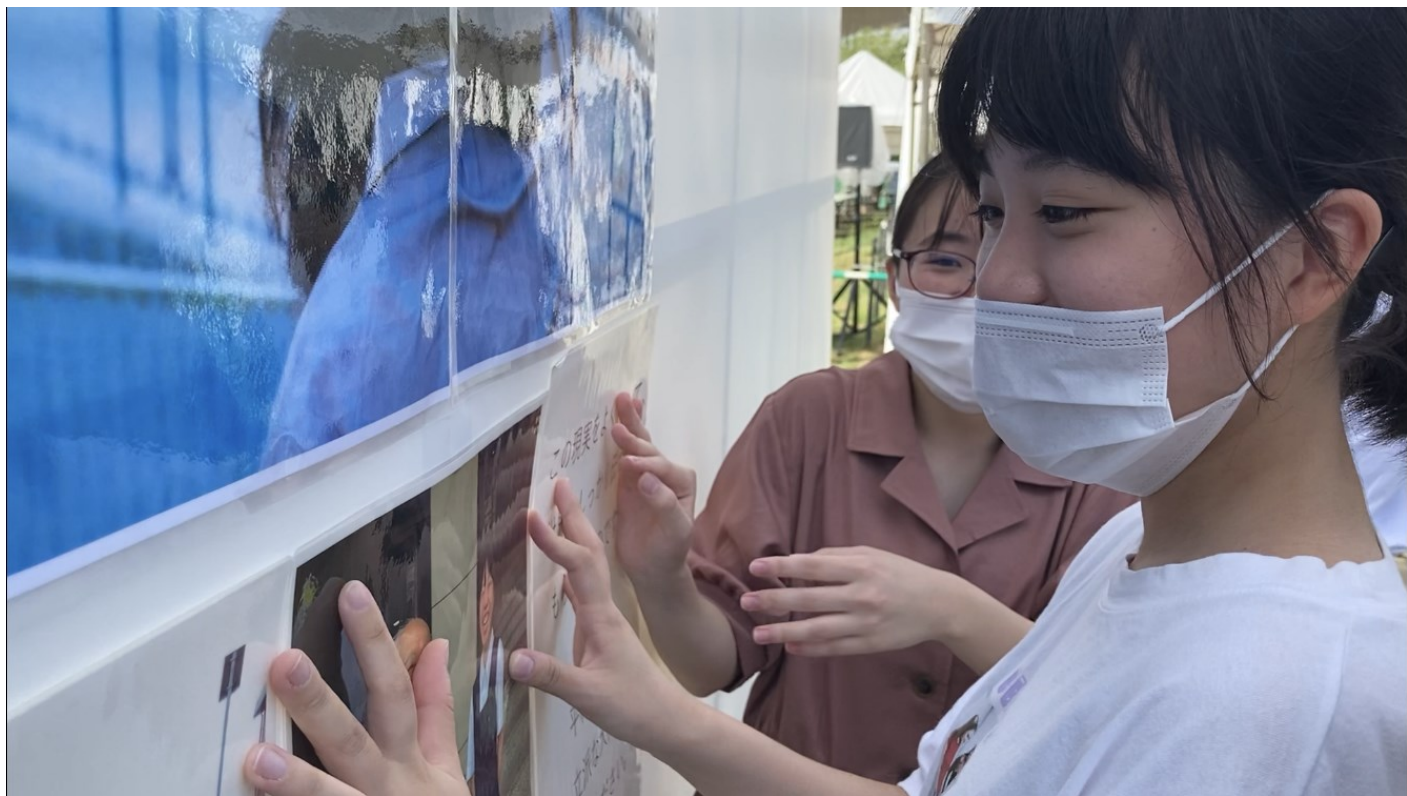
2020 Annual Report



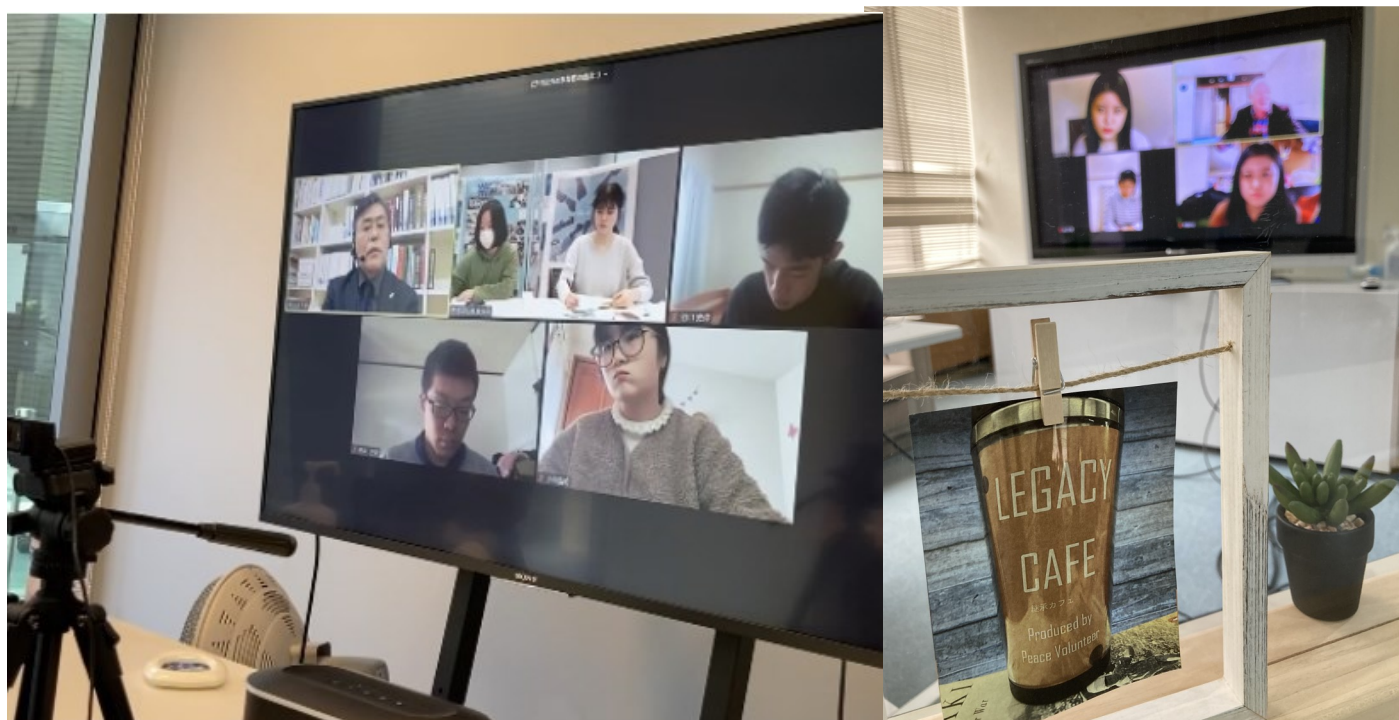


コロナ禍での挑戦。

できないことなく、できることを。



世界の予想を超えた新型コロナウイルスの感染拡大というチャレンジに直面した今年。当たり前となったオンラインでのつながりを通して、コロナ禍の中でも情報交換や学びを行い、被爆の実相を伝え、さらなる平和の発信のために、社会とつながることを意識して活動を実施しました。



Why We chose Peace Volunteer ?

ピースボランティアについて



ピースボランティアの活動年齢は高校1年生から29歳まで。先輩・後輩禁止。長崎の被爆体験を語り継ぐために必要な次世代のアイデアは、世代を超えた友情から生まれています。

青少年ピースボランティアとは、長崎原爆と平和について発信したい人の集まりです

青少年ピースボランティア育成事業は、長崎市が平成14年度から、15歳(中学校卒業)以上30歳未満の青少年を対象に実施しています。参加者が長崎の被爆の実相や戦争について学び、平和について考え、行動することにより、被爆体験の継承と平和意識を高めることを目的としています。なお、令和元年度より、公益財団法人長崎平和推進協会が長崎市から委託を受けています。

ピースボランティアは長崎市を拠点に活動しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が大幅に制限されました。こうした中、オンラインやSNSを活用した自主企画を実施し、できることに焦点を当てることで、新しい企画も実施しました。

年齢も関心も様々なユニークなメンバーで活動しています。

【令和3年3月24日現在】
総数 141人
男性 44人 女性 97人=141人
高校生 69人 大学生(短大・大学院含む) 41人 社会人 13人 進学予定3名 その他 15名

※進学・就職について連絡のないボランティアについては、その他としています。



必要なのは、やる気と熱意 メンバー紹介

高校2年から参加しています。個人勉強していた原爆のことについて、先生に勧められたことをきっかけに、本格的に活動を始めました。全国の子供たちと交流し、互いに学びあうことが何より楽しいです。(山下 豊さん、ウエスレヤン大学 広島との連携にも力を入れている、ベテランボランティア)



長崎県で育ち、小学校のときから平和学習は参加してきました。大学3年生になり、時間の余裕ができ、改めて活動をしたいと考え、参加しました。(山田 聖華さん、西南学院大学 イベント時にはファシリテーター、司会等で活躍。朗読、通訳にも挑戦中)

初めは何となく活動がしたいと思っただけでしたが、被爆者である祖父の死をきっかけに、積極的に活動に参加するようになりました。(津田 茉莉子さん、純心女子高校 若者による若者のための平和学習に関心を持つ、頼りになるボランティアNo.1)



長崎、五島、佐世保、福岡、広島、沖縄を結んでオンライン学習

ピースボランティアの活動は、学習会、県外研修、長崎市主催の平和関連イベントへの参加等。皆で集まったり、地域や県内外の人々と楽しく交流していますが、イベントのためには、日々話し合い、オンラインで調整するなど、地道な作業もあります。



派遣研修 長崎を超えて、出会い、つながる

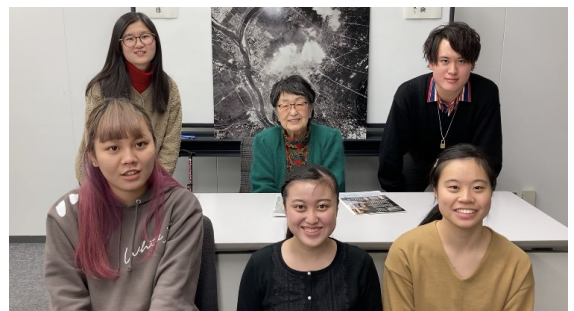
長崎以外の地域で平和について考えるために、毎年、県外で学習会を実施しています。参加ボランティアは県外の若者との交流のために派遣されます。今年は、研修の一部が新型コロナウイルス感染防止のために中止となり、オンライン開催となりました。

大刀洗・久留米研修 九州の戦争を知る

実施日: 12月5日(土) 参加者数: 5名

訪問先: 大刀洗平和記念館、久留米市役所(久留米大空襲講話)

大刀洗平和記念館で、大刀洗大空襲と特攻隊の歴史について学びました。また久留米市役所で、久留米大空襲について、体験者よりお話を伺いました。



参加
ボランティア
の感想

体験だけにとどまらず、そこからなぜ戦争は駄目なのか、具体的な展開・証言が求められると思う。久留米の講話について我々がどう伝えていくか、戦争の惨禍を体験している高齢者が減少している緊迫の状況の中、早急な対応が求められると思う。(佐藤 大樹さん、長崎大学)

特攻隊の写真や遺書を見て涙が出た。久留米空襲の証言を聞き、絶対に風化させてはならないという強い思いが伝わった。まずは、身の回りの人に話すことから始めようと思う。
(井上 美欧さん、純真短期大学)

「知る」ことは継承するための初めの一步。坂井さんの講話にもあった通り、知らないことをなくすために私たちは語り継ぐ。長崎以外の地域についても目を向けるべきだと感じた。
(小川 由姫さん、活水大学)

広島研修 被爆地連携スタート！

広島研修は、首都圏や県内の緊急事態宣言等を受けて、オンラインで実施しました。広島平和記念資料館や平和記念公園を訪問することはできませんでしたが、広島の若者団体Face to Peaceの協力を得て「オンライン碑めぐり」を開催しました。また、被爆者、被爆2世で体験を伝えている伝承者、広島のNGO(ANT-Hiroshima)や平和をテーマにしたカフェ(ソーシャルブックカフェ ハチドリ舎)のオーナー等、様々な講師を招き、いろいろな方法で平和を考え、伝えていくことについて話し合いました。

オンラインという慣れない環境で不安もありましたが、実りの多い研修になりました。被爆体験から現在の核兵器、放射線の恐ろしさなど、知らなかったことをたくさん聞くことができました。広島の被爆者の方のお話を聞くのは初めてだったので、もっとたくさん聞いてみたいです。

未来の平和の担い手として、小さなことでも良いから行動に移し、身近なところから平和にしていけることが大切だと思いました。今後広島と連携し、長崎のことについて紹介することで、自分にも新たな発見があり、改めて深く学習する良い機会になると思います。

(松山 咲さん、創成館高等学校)

参加 ボランティア の感想

広島研修を受け、広島原爆の実相を知るだけでなく、広島から平和を発信していく今の様子を知ることができ、とても勉強になりました。長崎では、核や平和について自由に語り合う場がないので、広島の取り組みは素敵です。

このような場所が、広島・長崎だけでなく、世界中に増えていくといいなと思いました。長崎原爆を学び、広島の今を知り、平和に対する想いが深まりました。

(甲斐 小雪さん、長崎大学)



平和 (Peace) =

People (人)

Empathy (共感)

Act (行動)

Commitment (コミットメント)

Enjoy (楽しむ)

沖縄とも何か
始まるかも！

今年度の県外研修はオンラインの利点を生かして、広島の被爆者、伝承者(継承者)、平和をテーマにしたカフェのオーナーや広島の若者グループと交流会を行いました。また、沖縄のひめゆり平和祈念資料館 館長によるセミナーも開催しました。



私たちは被爆者の方々との交流を大切にしています。被爆当時、10代、20代だった被爆者の方々も今は80、90代。「私たちには時間がない」とよく聞きます。若い世代にできること、それは、被爆者との一秒一秒を大切にすること。ピースボランティアと被爆者の交流会、朗読、その他さまざまな形で継承を続けていきます。

語り継ぐということ。



被爆者との連携

高齢化が進み、被爆者の話を聞く機会が減っていく中、ピースボランティアと被爆者の交流の機会を設けています。今年は、対面での講話が制限されましたが、オンラインイベントではボランティアがテクニカル面でサポートしました。こうした連携を通じ、平和活動では世代を超えた協力が必要であることを再確認しました。



自主企画 コロナ禍で不安な日本へ #未来へ伝えたい被爆者の言葉

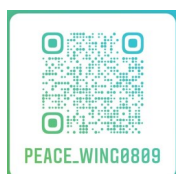
コロナウイルスの感染拡大等で不安を抱える日本と世界へ、希望の言葉を伝える企画を実施しました。当協会が発行している「ピーストーク きみたちに伝えたい くり返すまい ナガサキの体験」に掲載されている数十名の被爆体験講話を参加ボランティアが読み、特に共感した言葉、感動した言葉を友人や家族、また未来に伝えたいメッセージとして、選びました。選んだ31の言葉とメッセージは7月初旬から8月9日の原爆の日へ向けたカウントダウン方式で発表しました。また投稿した写真と言葉は、8月9日の平和祈念式典会場でも掲示し、来場者にピースボランティアが直接説明しました。

その他、長崎市主催のイベントでのボランティアやVファーレンアカデミーとの連携で様々な活動をしました。詳しくは、右ページの年間活動をご覧ください。



開催日	活動内容	場所	参加人数
2020年			
6月20日(土) 14時～16時 学習会	オンライン企画等準備	原爆資料館 平和学習室 /オンライン	11名
6月27日(土) 学習会	オンライン企画準備	平和会館 平和交流スペース	8名
7月26日(日) 学習会	VファーレンアカデミーとJICA連携学習会	原爆資料館ホール /オンライン	9名(Vファーレン・JICA45名)
8月5日(水) 学習会	広島 中・高校生ピースクラブとのオンラインイベント	オンライン	4名
8月8日(土)	平和祈念式典会場での準備	平和公園	10名
8月9日(日) 平和祈念式典	水とおしぼりの配布、会場案内等	平和公園/原爆資料館	14名
9月20日(日)学習会	被爆体験講話聴講、オンラインイベントで日英通訳等	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館研修室/オンライン	5名
9月19日(土)、23日(水) 26日、27日	青少年ピースフォーラム 準備(動画制作)	平和会館 平和交流スペース /平和公園	17名
10月24日(土) 市民大行進	風船等の配布	平和公園	13名
10月24日(土)～11月	青少年ピースフォーラム 準備(オンラインミーティング)	平和会館 平和交流スペース /オンライン	39名
11月28日(土)	青少年ピースフォーラム	平和会館 平和交流スペース /オンライン	11名
12月5日(土)県外研修	大刀洗・久留米訪問	大刀洗、久留米	5名
12月10日(木)	次年度活動計画オンラインミーティング	オンライン	11名
2021年			
1月9日(土)県外研修	オンライン広島研修 事前学習会	オンライン	7名
1月15日(金)学習会	被爆者とのオンライン交流「継承カフェ」	オンライン	4名
1月31日(日)学習会	被爆体験朗読に関する学習会	オンライン	5名
2月6日(土)県外研修	オンライン広島研修 第一部	オンライン	3名(その他、 広島の若者2名)
2月13日(土)県外研修	オンライン広島研修 第二部	オンライン	3名
2月13日(土)学習会	被爆者との英語による被爆体験勉強会調整MTG	オンライン	2名
2月27日(土)学習会	被爆者との英語による被爆体験勉強会調整MTG	オンライン	2名
2月27日(土)学習会	被爆者とのオンライン交流「継承カフェ」	オンライン	5名
3月6日(土)学習会	県外活動に関するMTG	平和会館 平和交流スペース /オンライン	3名
3月8日(月)県外研修	オンライン沖縄研修 ひめゆり平和祈念資料館館長講義	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館研修室/オンライン	6名
3月14日(日)学習会	被爆者との英語による被爆体験勉強会調整MTG	平和会館 平和交流スペース /オンライン	2名
3月21日(日)学習会	オンライン広島研修 第三部	平和会館 平和交流スペース /オンライン	12名
3月27日(土)学習会	被爆者とのオンライン交流「継承カフェ」	平和会館 平和交流スペース /オンライン	6名
3月27日(土)学習会	被爆者との英語による被爆体験勉強会調整MTG	平和会館 平和交流スペース /オンライン	3名
令和2年度活動参加者数(延べ)			267名

Peace Volunteer
Since 2002



インスタで
活動チェック！

令和2年度 青少年ピースボランティア育成事業 報告

お問合せ先 公益財団法人 長崎平和推進協会

所在地 〒852-8117

長崎市平野町7番8号

電話番号 095-844-9922

FAX 095-844-9961

Eメール keishou@peace-wing-n.or.jp

